

子どもの化学物質汚染

～農薬を通して見えてきたもの～



神 聡子氏 Jin satoko
小樽・子どもの環境を考える親の会代表

「危険な化学物質から子どもを守る暮らし方」

著者 神 聡子



【内容紹介】なぜ安全性の確認をせず市場にでてくるのか、なぜ海外で危険かもしれないという研究結果があるにもかかわらず製造・販売を中止しないのか。将来、子どもにどんな影響がでるかもわからないものが、なぜ野放しになっているのか、売れさえすればいいのか。

(じゃこめてい出版)

私たち、特に子どもたちに危険な化学物質の話をしたいと思います。例えば、最近異常に規制緩和された食品の残留農薬の為害性を遙かに超えて、空気中を漂っている農薬を呼吸により吸い込む方が危険です。私たちが日常的に使用しているものが空気を汚染し、子どもの発達に影響を与えているという研究が次々と発表されています。

ぜひ、子どもたちの環境を守るため、みなさん一緒に考え、行動しましょう。

講師紹介

看護師・環境アレルギーアドバイザー。看護師、高等看護学院講師を務めたのち、結婚。息子が小学校5年生のときにシックスクール症候群になり、「小樽・子どもの環境を考える親の会」を立ち上げる。現在は、会の運営、講演会、アレルギーや化学物質過敏症などの相談、行政への仲介・要望などに携わるかたわら、アレルギーや化学物質過敏症の方が買い物ができる「絵本と環境雑貨の店ワオキツネザル」を経営

と き **2020年 3月 7日 (土)**

15:00～17:00

場 所 **ANAクラウンプラザホテル札幌 23階『白樺』**

札幌市中央区北3条西1丁目2番地9

参加費 **500円 (学生無料)**

* 記念講演会終了後、
「医療九条の会・北海道」
第14回総会を開催します。

◆◆ 会場 ◆◆

ANAクラウンプラザホテル札幌

23階「桂」